

2021年5月19日

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言に賛同

太平洋工業株式会社は、気候変動に関する情報開示の枠組みである「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」の提言へ賛同を表明しました。

当社グループでは、サステナビリティに関するマテリアリティ（重要課題）を特定し、その柱として「環境負荷の極小化」を掲げるとともに、長期ビジョン「PACIFIC 環境チャレンジ 2050」を策定しています。

その中でも、「気候変動の緩和および適応」は最重要課題と認識しており、CO₂ 排出量を 2050 年までに実質ゼロ、2030 年までに 35%削減（2019 年度比）といった長期目標を設定するなど、グループで取り組みを加速しています。

今後、当提言の枠組みに沿って、気候変動が当社の事業に与えるリスクと機会を踏まえ、ガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標についての開示を進めていきます。

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）について

TCFD（Task Force on Climate-related Financial Disclosures）は、G20の要請を受け、主要国の中央銀行や金融規制当局などが参加する国際機関である金融安定理事会（FSB）によって設立されたタスクフォースです。TCFDが2017年6月に公表した最終報告書は、気候変動関連リスク及び機会に関する、ガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標を開示することを推奨しています。



TCFD (英語)

<https://www.fsb-tcf.org/>

PACIFIC 環境チャレンジ 2050

<https://www.pacific-ind.co.jp/csr/environment/management/#2050>